

さんりんしゃ 三輪車



ニッキー

八千代市立新木戸小学校

《校長室だより》

発行：校長 寺田 好江

令和元年度 第 37号

令和2年 2月 26日

【学校教育目標】 自らの可能性を拓く子供の育成

体育館いっぱいひろがった「ありがとう」

2月21日（金）にお別れ音楽会を開催しました。この日のために、どの学年のどの子も、一生懸命に練習してきました。6年生は、1年生からプレゼントされたメダルを胸に、少し照れながら入場してきました。

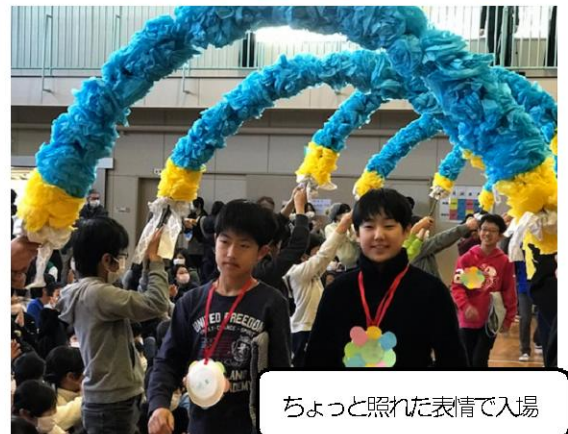
手つなぎ学級とハンドベルクラブ合同の演奏をオープニングに、1年生の3人が「はじめの言葉」を大きな声でしっかりと、更にかわいらしく宣言し、始まりました。どの学年の発表も、練習の時よりも心をつにして発表できていると感じました。体育館には、前日のリハーサル同様たくさんの保護者の方に来校いただき、子供たちの頑張りを観て頂けたと思います。また、学校評議員やスクールガード、ききみみうさぎ等、子供たちがお世話になっている方たちも参観に来てくださいました。

子供たちは、1年間の学習の成果を発揮して演奏するだけでなく、6年生への思いを大きな声で呼びかけたり、劇で伝えたりして、音楽会を盛り上げました。クローバーコーラスの方の発表も先生方の新木戸少年少女合唱団も、趣向を凝らして6年生の卒業に向けて歌でメッセージを贈りました。

6年生の発表は、さすが最高学年！「パイレーツ オブ カリビアン」のシーンを思い出させる演出で、ソロの歌から始まる見事な演奏でした。合唱も一人一人の思いが伝わってきて、胸が熱くなりました。

閉会式で歌った「大切なもの」の合唱が、全校で一緒に歌った最後の歌になりました。全校の「ありがとう」の気持ちが歌声にのって、一緒に歌っていて胸が熱くなりました。本校の子供たちの歌声は、どの学年もとてもきれいです。一生懸命に歌おうという気持ちが伝わってきます。あっという間に時間が流れ心が温かくなるお別れ音楽会になりました。参観された方々からも、たくさんお褒めの言葉をいただきました。ありがとうございました。

この後、いよいよ卒業式の練習が始まります。在校生代表の5年生と、卒業生の思いが詰まった卒業式になるように、卒業生・在校生と教職員で一緒に作り上げていきたいと思っています。



ちょっと照れた表情で入場



気持ちを一つにした合唱「あなたへ」
— 旅立ちに寄せるメッセージ —



6年生合奏「パイレーツ オブ カリビアン」より 彼こそが海賊

各学年のお別れ音楽会の様子は新木戸小学校HP「新木戸小ニュース」2月21日に掲載してあります。